

# 2021年度 自己点検・評価 全学的課題事項について

◎はとりまとめ組織    ○は検討・連携組織

## 1 2021年度 自己点検・評価における新規課題

基準	評価項目	2021年度自己点検・評価における指摘	課題への対応	
			対応組織	改善の方向性
【基準4②】 教育課程・ 学習成果	(教学部(全研究科)) ■評価項目No.406 学位授与方針に明示した学生の学習成果を適切に把握及び評価しているか。	[第3期認証評価【改善課題】] 研究科において学位授与方針に定めた学習成果の把握は、博士論文又は修士論文の提出と審査への合格をもって行うにとどまっており、学位授与方針に定めた学習成果を多角的かつ適切に把握・評価しているとはいえないため、改善が求められる。【努力課題】	◎教学部 (各研究科)	第3期認証評価【改善課題】であり、学位授与方針に定めた学習成果の多角的かつ適切な把握・評価を実施すべく、大学院教学会議および各研究科が改善に取り組む。 [達成期日2024年3月]
【基準6】 教員・ 教員組織	(大学評価支援室) ■評価項目No.604 ファカルティ・ディベロップメント (FD) 活動を組織的かつ多面的に実施し、教員の資質向上及び教員組織の改善・向上に繋がっているか。	[第3期認証評価【改善課題】] 研究活動の活性化や社会貢献等の諸活動の推進を図ることを目的としたFD活動について、その実施の在り方等を検討する必要がある。【努力課題】	◎大学評価支援室 (学修支援・教育開発センター)	第3期認証評価【改善課題】であり、研究活動活性化・社会貢献等の諸活動推進も目的とした「FD活動(実施)の方針」(仮称)を策定・公表し、同方針のもとでのFD展開をはかっていく。 [達成期日2024年3月]

## 2 過年度からの継続課題

基準	評価項目	2021年度自己点検・評価における指摘	課題への対応	
			対応組織	改善の方向性
【基準5】 学生の 受け入れ	(教学部) ■評価項目No.503 適切な定員を設定して学生の受け入れを行うとともに、在籍学生数を収容定員に基づき適正に管理しているか。	[第3期認証評価【改善課題】] 大学院修士・博士課程における定員未充足状態を改善することが求められる。【努力課題】	◎教学部 ○各研究科	2011年度からの全学的課題事項として、現在、教学部が継続的に取り組みを行っている。大学院教学会議、全学教学政策会議等を中心に、関係組織が連携して、取り組む。 [達成期日2024年3月]
【基準6】 教員・ 教員組織	(教学部) ■評価項目No.603 教員の募集、採用、昇任等を適切に行っているか。	「改善計画書」に基づき、教員人事規程の平準化(昇任人事等)に関する課題について検討を進め、今後、改善課題が解消されることが期待される。【努力課題】	◎教学部 ○各学部 ○学部共通コース ○教養教育センター	教員の昇任人事に関して、各学部、関係組織と連携し、学部長会を中心に検討を進め、各学部の「教員人事規程」の平準化に向け改善を行う。なお、その際、教養教育科目、教職課程科目、学部共通コース科目を主たる担当科目とする教員が、所属学部によって異なる基準と手続きに則らなければならないことを含め検討することとする。